

## 貫井図書館 図書館利用者懇談会

- 1 日時 令和4年11月4日(金) 午後2時～午後3時30分
- 2 場所 貫井図書館 視聴覚室
- 3 参加者 利用者 27名 内ガイドヘルパー1名  
図書館 5名 (貫井図書館長、館長代理2名・  
光が丘図書館運営調整係長、運営調整係職員1名)  
美術館 1名
- 4 テーマ 「地域の中の図書館サービスを考える」
- 5 配付資料 (1) 練馬区立図書館ビジョン  
(2) これからの図書館構想  
(3) 貫井図書館だより  
(4) 美術パスファインダー  
(5) 令和3年度下半期～4年度上半期  
一般展示まとめ、主な一般向け行事まとめ、  
主な児童・青少年向け行事まとめ
- 6 次第 (1) 貫井図書館長挨拶  
(2) 図書館職員および参加者自己紹介  
(3) 図書館事業説明および懇談  
①子供たちへのサービス  
②一般、高齢者、障害者サービス  
③その他  
(4) 貫井図書館長挨拶

### 貫井図書館利用者懇談会 会議録

#### 1 貫井図書館長挨拶

#### 2 図書館職員紹介および出席者自己紹介

参加者の自己紹介を行います。館長、館長代理、館長代理(記録担当)の後、出席者席の並び順で、お名前など個人情報は結構でございますので、図書館への関わりや立場などを言っていただくようお願いいたします。

#### 3 図書館事業説明および懇談

##### (1) 「子供たちへのサービス」◆図書館長より状況報告◆

図書館 図書館ビジョン、図書館構想概要版を今年度は配布させていただいた。ぜひ、

ご一読いただきたい。今年度は、「地域の中の図書館サービス」をテーマに掲げております通り、いろいろな事業と地域の施設や団体の方とさせていただいている。

児童サービスとしては、よみきかせ、おはなし会、託児サービス、調べる学習コンクールにも取り組んでいる。夏休みに関連イベントを実施している。探求型学習に近年重点が置かれている中で、子供たちの読書活動推進に取り組んでいきたい。科学実験教室が大変好評。中高生に向けてのイベントとして、今年度はプロの声優さんに来てもらったり、貫井中と富士見中の読書交流会を行ったりと青少年向けにもいろいろ取り組んでいる。これら、子供たちへのサービスに関して、何かご意見があるか。

- 利用者** 工事中は、出張おはなし会は来てもらえるのか。
- 図書館** 工事中の運営については、現状、設計事業者を選ぶ段階で、事業者が決まってから工期がきまる。今の段階で、工事中の運営がどうなるかはまだはっきり決まっていない状況。これまでの区立図書館の大規模改修の実績によると、工期中は仮設事務所をかまえて、規模を縮小してサービスを継続するという形をとった。貫井図書館は利用者が多いので、そういったことを想定して、現在準備を進めている。まだ、工事中に何ができるかははっきりしていないのが現状。
- 利用者** 学校との連携、学校の図書室にない資料を取り寄せするのは工期中も保障されるのか。子供達が調べるといことはすごく大事になってきている。
- 図書館** 工事期間中は貫井図書館の資料はほとんど箱詰めしてしまうと思われる。貫井図書館以外の蔵書で団体貸出を行うことになると思う。それぞれの図書館で全部の学校に対して担当校が決まっていて、休館期間中に学校へのサービス、担当校へのサービスは止まることはないと考えている。
- 図書館** 区立図書館は各館担当校を持って、支援を行っている。工事期間中図書館は休館だが、担当校への支援が途切れることはあってはならないので、それは継続できるように準備をしていきたいと考えている。
- 利用者** 実質どのくらいの期間、貫井図書館は使えないのか。設計業者に対し、貫井図書館はこの設計だけは入れてくれ、この機能は入れてくれ、本の貸し借りだけでなく多面的な機能をどのように要望や交渉をしているのかが聞きたい。
- 図書館** その質問については、最後に時間をとるので、今は児童サービスについて話をお伺いしたい。

## (2)「一般、高齢者、障害者サービス」◆図書館長より状況報告◆

- 図書館** 貫井図書館だよりや美術パスファインダーなどを発行して、情報発信を行っている。地域情報の発信では、富士見台商栄会の紹介を長く行い、この秋からは近隣の施設紹介を行っている。地域資料『中むらの歴史』のデジタル化の実施や、美術関連資料については、企画展示などを行ったり、美術館さんと一緒にワークショップ

プを行なっている。いろいろな地域施設と連携しての講座の開催を実施している。先日は地域包括支援センターと共催で薬剤師さんに来ていただき薬のお話をしていただいた。歴史講座は特に人気があり、この11月にも開催する。毎年バリアフリー映画会を実施し、また昨日は手話つきおはなしを実施した。8月には、ユニバーサル朗読会として、視覚障害者の読み手が点字を朗読し、UD トークを使ってスクリーンに文字を投影するというイベントも実施した。障害者サービスも運営の大きな柱としている。対面朗読室は616回実施、区内で最も利用されている。ボランティアの方々には大変感謝している。

近年のトレンドとして、オンラインを利用したイベント（遠隔開催）を多く実施している。練馬区内の他の課と協力してのイベントを貫井でも開催し、いろいろなところで、多くの方に参加の機会を提供できるよう実施している。

**利用者** 講演会がオンラインで見られるとのことだが、利用したいと思うが、すべてではないのか。情報が逐次HPにあがったりはしないのか。

**図書館** 家庭のPC等で講演会をZOOM等でみるということを区ではやっている。全てのイベントでそのようにできるかという、まだそれはできていない。今後の課題と考えている。

**利用者** 地域の歴史講座が人気ということだが、図書館構想の中に、「地域ならではの継承・発信」ということが書かれている。中村橋遺跡、貫井2丁目遺跡、貫井1丁目遺跡など、興味深い遺跡があるのがあまりちゃんと発信されていない。私も、文化・生涯学習課の方に中学生などに紹介してほしいということを伝えたとところ「学術的にそこまで重要な遺跡ではない」と言われてしまった。しかし、地域としてはとても大切。自分の身近な遺跡について知ることは重要だと考える。図書館の機能を使いながら研究して、継続して成果を区民に分けてほしい、そんな機会を持てたらいいと要望する。

**利用者** ユニバーサル朗読会について、障害者政策のトピックスとして、この6月に「練馬区障害者の意思疎通の促進と手話言語の普及に関する条例」が練馬区で制定された。障害者と一般の方が、機器を使って、あるいは点字や手話をおぼえていただき、地域の中で一緒にコミュニケーションを図りながら生活できる、共生社会を築いていくという条例を6月に制定しました。実は、来年1月から中村橋福祉ケアセンターにて、障害者へのICT機器、UDトークやさまざまな言葉を表示・変換したり、書いてあるものを読み上げたりするものを活用して、一般の方と障害者の方がコミュニケーションをとるため、ICT機器を使いこなしていくための相談窓口を設けることになった。今後機材等もそろえていくつもり。そういったことも図書館でも活用していただきながら、共生社会を作り上げていくきっかけになれば、と思っております。今後とも協力をお願いしたい。

**図書館** 朗読会は、その条例を知ってもらうための取り組みとして行った。去年はアメディアという会社とコラボして、福祉関連機器の展示会を行った。

**利用者** 例えばユニバーサル朗読会があるときに一般展示のコーナーを使つての展示をしたり、そういうことを心がけていたりはするのか。一般展示のテーマはどのように決めているのか

**図書館** イベントとの連動した展示はもう少しできたらいいと考えているが、できていないことも多い。一般展示は年間で担当を決め、季節にあったものなどを考えている。イベントと連携ができていないところは、今後の課題。

**利用者** 練馬に地方出身の人も多いと思う。今自分が住んでいる地域のことを知ることとはとても重要。光が丘図書館にあるような、地域を知ることができるコーナーを設置してくれたら良いと思う。検討いただきたい。

**図書館** 貫井でもそのようなことができるか、今後考えていきたい。地域資料のコーナーはあるが、貫井のコーナーはスペースの関係もありできていない。

### (3)「その他」◆図書館長より状況報告◆

**図書館** 図書館のこれまでの取組に関して以外で、ご意見をお伺いしたい。本日はご要望をお伺いするだけになるかもしれないが、積極的にご意見をお願いしたい。

**利用者** 図書館の利用者として、不便があるのは困る。現状の貫井図書館と同等もしくはそれ以上になるなら賛成だが、縮小されると困る。機能は今と一緒にするのか。悪くなるとかはないですね。

**利用者** 今後のスケジュールを聞きたい。

**図書館** 工事のスケジュールは、まだ設計の事業者が決まっていない、はじまっていないので、あくまで予定としてほしい。

工事は、令和7～9年度の工事の予定で進んでいる。工期中は休館。

**利用者** 練馬区としては、設計者にこれは守ってほしい、この機能をアップして欲しいというような要望をあげているのか、それとも、設計者次第なのか。

**図書館** 設計事業者の募集にあたり、区の考え方をまとめたものを応募に際して示している。簡単に言うと、貫井図書館の現在の機能維持は前提。それを見て、事業者も設計の提案を出してきている。

**利用者** 改修の場合はそれなりに今の不合理的を改善していると思うが、再整備するのに、図書館機能は現状を保証するだけ、というのは足りないと思う。改善を要求していかない、より良くしないとまずいのではないか。

**図書館** 先ほどは言葉が足りなかった。現状維持は最低ライン。その上で貫井図書館の現在の利用者、懇談会で出た意見、アンケートの意見を踏まえ、より良い図書館になるように考えているところ。

**利用者** 図書館というのは今までと同じくただ建替えられるというだけでなく、図書館の在り方としてただ本を借りて返す、イベントをやれば良いというだけでは図書館の価値があるとは思っていない。世界の潮流からみると遅れている。図書館は変革している。プロポーザルの中に出ているとは思いますが、そこに応えていただくよう

な、今までの図書館の単なる継承だけでなく、貫井図書館が世界にないものになるよう、じっくり考えていってほしい。

**図書館** ありがとうございます。これから設計するにあたって、そのような考えで取り組んでまいりたい。

**利用者** 今までのおはなしでは、具体的なイメージがわからない。設計事業者へのプロポーザルを拝見はできないのか。

**図書館** プレゼンテーションについては、一般の方に公開する予定。今日まで傍聴の募集をしている。12月3日に公開プレゼンを行う、それは一般の方も見るができる。

**利用者** 美術館は今の規模とこれからの改築についてどのように考えているのか。美術館が全部とってしまうということはないのか。

**美術館** どういう構想にするかは公開されている通り、美術館と図書館と一体となるということで、全部美術館でとるということはない。設計がこれからだが、例えばわかりやすい導入口であるとか、美術館は美術館、図書館は図書館といったようではなく、区民が使いやすい美術館図書館にしていくと考えている。

**利用者** その話を聞くと、なおわからない。どういうことなのか。併設というと、たとえば、練馬図書館は生涯学習センターと接しているが、全く別組織。入口は一緒ですが、共有しているところはあまりない。それぞれ独立している。今、企画段階で、美術館図書館再整備として一つの部署で計画しているが、実際に運営する段階になったら組織として別々なわけですね。それぞれが空間、人員、費用、すべて違うわけですから、どのように美術館図書館はなるのか。わからない。

**利用者** そもそも、この状態であえて改築するメリットとか目標が見えてこない。今の状態で、この空間はのどかで緑が多くて良い。今後建物だけになって、前にある公園がつぶされて、ただの建物となるなら、今の方がまだ情緒がある。そもそもどういう理由がこれを変えようと改築しようとするか、それが見えてこないの、皆さんが疑問を持っているわけですよ。聞くとあいまいなことで、なんのためにこの会があるのか。これから会にかえって私報告しなければならないのですけど。業者も決まっていないからどうなるかわからない、設計図も決まっていない、というなら、この会はするなら、もっと後にして決まってからしていただいたほうがいいと思うんですけど。こんな不明瞭な段階でやっても、みんな納得しない。そもそもどういう理由で、これを改築しようとするか、それを聞きたいです。

**図書館** 今日は図書館の運営や事業面に関する懇談会であって、改築に関する懇談会ではない。再整備に関するところが、今回はそのような話も出るだろうということで、光が丘図書館から参っていますが、今のご質問については、お答えは難しい。

美術館と図書館の運営ということだが、それが融合した施設にすると再整備後はどうなるのか、ということろは、設計の事業者等が決まって、運営形態も決まっていくということになっている。

- 利用者** 貫井図書館と南田中図書館の間にある文庫だが、貫井図書館の図書館だよりが富士見の回覧板に回ってほしいと要望を出していたのだが、まわってこない。
- 図書館** 今後直接貫井図書館だよりやチラシを郵送していくようにする。
- 利用者** 布の絵本の制作の団体で30年近く活動しているが、休館中の活動場所は今後確保していただけるのか。こちらからは図書館の方に要望することはできるか。対面朗読室や、視聴覚室に代わる施設を提供して頂けるかどうかについては、どのように案内があるのか。
- 図書館** 布の絵本の団体さんについては、お預かりしている荷物もあるので、今こちらからご相談している。
- 図書館** まだ、そこまで検討が詳細にできていないが、もしご要望があれば、光が丘図書館にあげてほしい。
- 利用者** 我々ボランティア団体から直接光が丘図書館に要望をあげるということか。それは具体的にいつからどのように要望を出せばいいのかを教えて欲しい。
- 図書館** 持ち帰って検討したい。
- 利用者** 構成員に高齢者も多いので、30年継続してきた活動が途切れてしまう。
- 利用者** そういうご要望を光が丘図書館に伝えて、私たちの気持ちを聴いていただくような場を作りたいと思ひまして「貫井図書館の利用者の会」を作りました。貫井図書館の館長さんにご相談しながら、そういった場を設けることができればと思っております。光が丘図書館利用者の会の皆様もそういうご意向で、一緒にいいものを作っていきましょう。
- 図書館** いろいろなご意見をいただきありがとうございます。再整備に関しても色々な意見があることがわかった。引き続き、皆様の意見がきちんと練馬区に伝わるよう、貫井図書館として、間に入っていきたいと思う。直接光が丘図書館でも結構ですし、ご意見をいただけたらと思っております。ありがとうございます。